

不登校の小中学生が、過去最多の34万人に上り、いじめも過去最多で、小中高で73万件が報告された。ひきこもりやニートと呼ばれる若者たちの数も増え続け、長期化している。不登校の子どもの生活や学習はどのように保障されているのでしょうか？若者たちの社会参加や就労どのように支援されているのでしょうか？子ども・若者は自分たちへの深い理解と支援を求めています。ご関心のある市民の皆様の参加を呼びかけます。この講習では若者トークも交え、子ども・若者が参加できる地域社会のあり方についても考えます。

家族・支援者・地域に何ができるのか、

子ども・若者の進路と未来を考える
不登校34万人・ひきこもり146万人時代

第1回

9/23

[火]

13:30

16:00

子ども・若者理解と支援の課題

会場 三鷹市市民協働センター 三鷹駅南口より徒歩約15分

講義 子ども・若者をめぐる歴史・子どもの権利・法・施策などの概要の理解

講師 南出 吉祥 岐阜大学准教授・若者協同実践全国フォーラム事務局長

若者たちが語る① 「社会に出るのが不安」

解説 子ども・若者支援の基礎概念（自尊感情、承認、自立）の理解と対応
佐藤 洋作 文化学習協同ネットワーク

第2回

11/1

[土]

13:30

16:00

子ども・若者支援の方法

～不登校、ひきこもりの支援実践から学ぶ

会場 三鷹市市民協働センター 三鷹駅南口より徒歩約15分

実践報告① 不登校の子どもの学びを支える居場所づくり

実践報告② 若者が社会へとつながるベースキャンプ

若者たちが語る② 「居場所がほしい！」

第3回

12/7

[日]

13:30

16:00

若者の社会参加支援から就労までのみちすじ

会場 三鷹ネットワーク大学 三鷹駅南口ロータリー

実践報告③ 中間的就労支援 ―「働きながら働くことを学ぶ」

実践報告④ 協同労働による若者が働ける「よい仕事」づくり

若者たちが語る③ 「働く体験がしたい！」

第4回

2026
2/7

[土]

14:00

16:30

講義 若者支援政策を展望する（仮）

講師 宮本 太郎 厚労省「地域共生社会の在り方検討会議」座長、中央大学教授

会場 調整中

対談 若者就労支援は地域共生社会づくりの一環

登壇者 宮本 太郎 × 佐藤 洋作

お申込み方法

各回いずれかのみの
参加もOK!

申込フォームより必要事項を
記入のうえお申込みください



9/23 2026 2/7
全4回講座

会場 三鷹ネットワーク大学
三鷹市市民協働センター

参加費 無料

共催 NPO法人文化学習協同ネットワーク
ワーカーズコープ三多摩山梨事業本部
量り売りたまちの台所 野の
(みたかむさしの協同コミュニティづくりネットワーク)